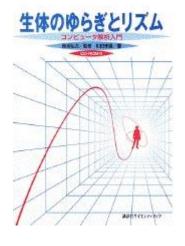
生体のゆらぎとリズム 和田孝雄著

生体のゆらぎとリズム (KS 医学・薬学専門書) 単行本 (ソフトカバー) 1997/11/13 和田 孝雄 (著), 赤池 弘次 (監修) 出版社: 講談社 (1997/11/13)

添付されたプログラムの使用方法



超音波システム研究所 斉木

<概要>

*.exe 実行ファイル

*.dat データファイル (解析するデータはこのファイル名で設定する)

インパルス応答(時間領域での伝達特性

ラプラス変換するとS領域での伝達特性)

周波数伝達関数(周波数領域での伝達特性)

AIRCV2.EXE ARV2.DAT 2変数のインパルス応答 AIRCV3.EXE ARV3.DAT 3変数のインパルス応答

多変量自己解析モデルによるフィードバック解析

ARPCV2.EXE ARV2.DAT 2変数のパワー寄与率 ARPCV3.EXE ARV3.DAT 3変数のパワー寄与率

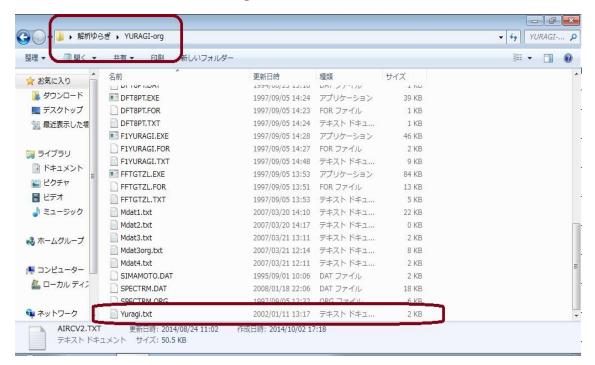
実行方法

- *.EXE ファイルを実行すると
- *.DAT ファイルのデータを解析して
- *.TXTファイルに結果を出力する

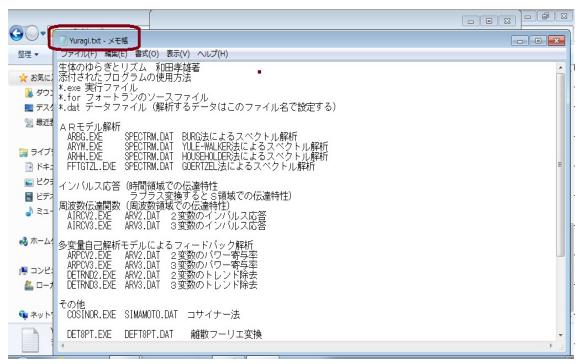
注意:繰り返す場合には*.TXTファイルは削除すること データを変更する場合は、*.DATファイルのデータを変更する

操作

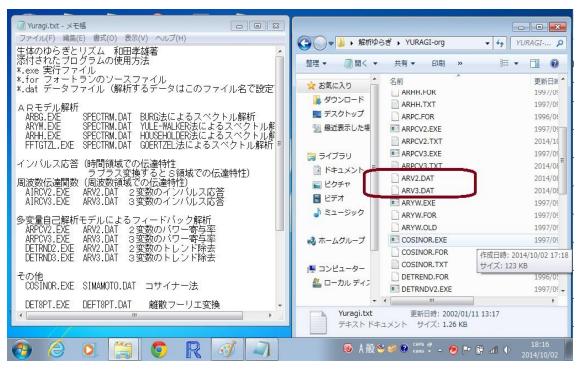
1:ホルダーを開いて Yuragi. TXT を選択する



2:Yuragi. TXT を開いて内容を確認する



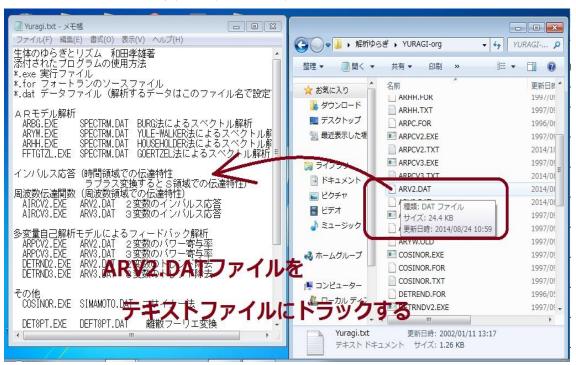
3:下記のようにホルダーをセット(並べて開く)する



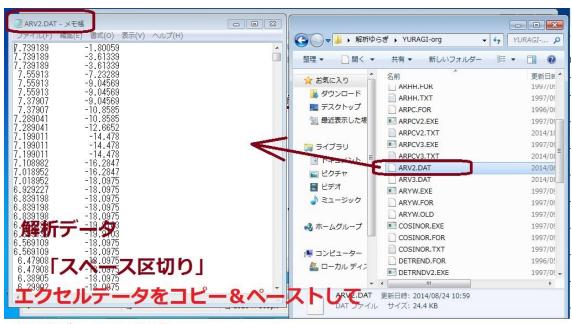
4: ARV2. DATファイルをドラックする

(ARV2. DATファイルを開く

拡張子がDATのため単純には開けません)



5:ARV2.DATファイルのドラック結果



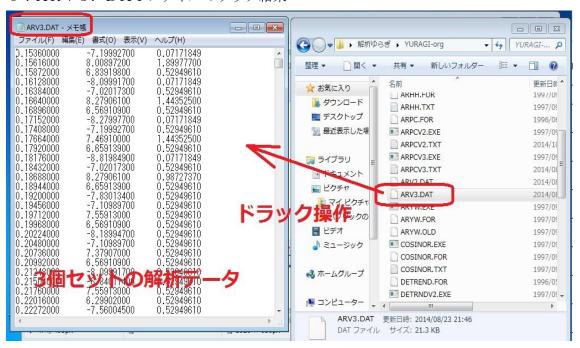
解析データを作成

データを削除して

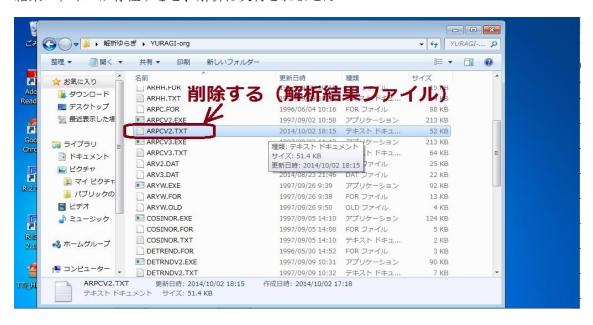
解析対象となるデータをセットしてください

(エクセルからコピー&ペストできます 注:カンマ区切りではなく スペース区切りです)

6:ARV3.DATファイルのラック結果



7:解析結果ファイルを削除する 結果ファイルが存在すると、解析は実行されません



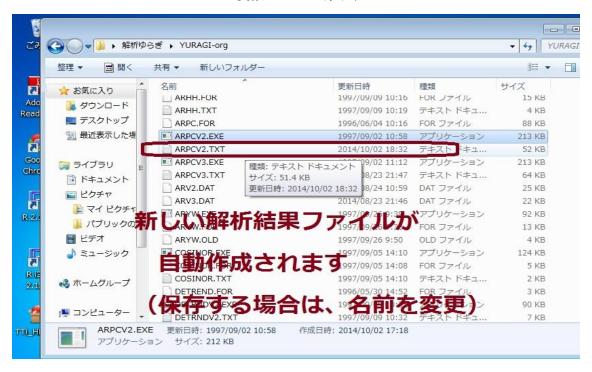
8:解析の実行

AIRCV2.EXE ARV2.DAT 2変数のインパルス応答 AIRCV3.EXE ARV3.DAT 3変数のインパルス応答 ARPCV2.EXE ARV2.DAT 2変数のパワー寄与率 ARPCV3.EXE ARV3.DAT 3変数のパワー寄与率



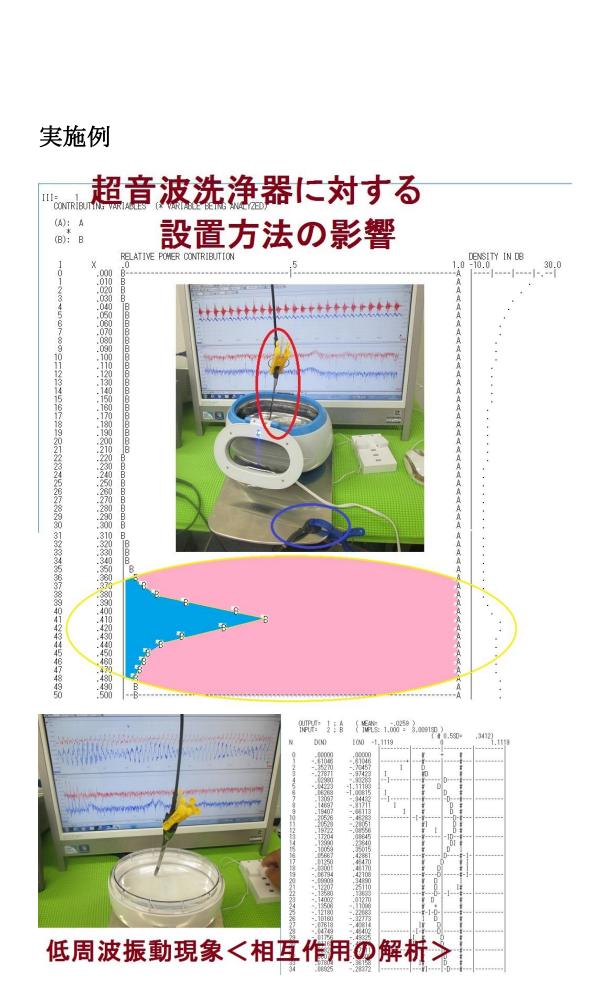
9:結果ファイルの自動作成

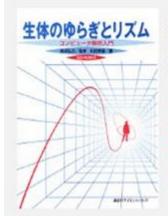
AIRCV2.TXT ARV2.DAT 2変数のインパルス応答 AIRCV3.TXT ARV3.DAT 3変数のインパルス応答 ARPCV2.TXT ARV2.DAT 2変数のパワー寄与率 ARPCV3.TXT ARV3.DAT 3変数のパワー寄与率



10:結果の確認







生体のゆらぎとリズム

(KS医学·薬学専門書) 単行本(ソフトカバー) - 1997/11/13 和田孝雄 (著),赤池弘次(監修)

赤池モデルを臨床こいかす画期的な解説書。 1/fゆらぎ解析に必須かつ難解な赤池モデルと、 臨床への応用を懇切丁寧に解説。 生体のダイナミクスに関心をもち 臨床データ解析に携わる医学者・工学者特望の書

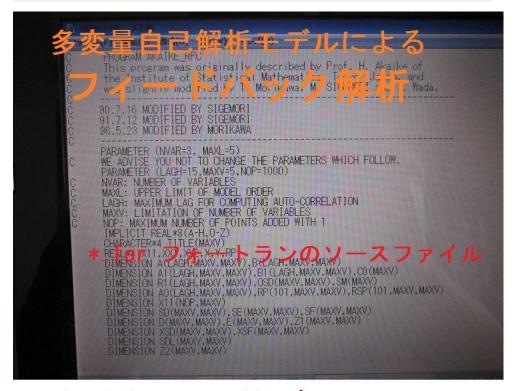
目次

第0章 何がわからないのか 第2章 時間の概念と周波数の概念 第6章 線形予測と周波数解析

第8章 モデルの次数決定

第1章 ゆらぎとリズム 第3章 フーリエ級数と周波数分析 第4章 フーリエ変換とパワースペクトル 第5章 デジタル信号と離散フーリエ変換 第7章システム同定の実際 第9章 スペクトル解析の実際

第10章多変量自己回帰モデルを用いた生体内フィードバック解析



統計数理に基づいた ダイナミックな振動制御